



JOCジャーナル Vol. 117 2020 July



CONTENTS

目次・TOP頁01
新型コロナウイルス感染症に関する公的支援02
JOC 第23回通常総会開催03
JOIN 第19回通常総会開催05
「ダチョウ科学館」計画について06



新型コロナウイルス感染症 影響と希望

事務局 田中俊之

本年上半期は新型コロナウイルス感染症が世界中、日本中に影響を与えました。社会全体で衛生意識の変革、業務のリモート化の推進が求められたといえます。当会においても後頁でご報告する本年度の総会を書面議決方式で開催することとなりました。会員の皆様におかれましては、日頃の飼育場防疫対策等で衛生意識を高めておられ、書面議決での総会開催についてもご理解と冷静な対応を頂きお礼申し上げます。

市況についても外出自粛の影響は、飲食・催事観光業に大きなダメージを与え、その影響はオーストリッチ産業にも波及し、飲食・催事観光業向けの食肉出荷は新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言下にあった4月～5月を中心に大きく減少したことが各会員から報告頂いている状況にあります。一方で食品小売業やネット通販の需要は上昇傾向にあり、オーストリッチ産業の持続的発展に向けて開拓が不可欠な市場分野といえます。

また6月に京都府立大学学長 塚本康浩 教授（会員）の新型コロナウイルスの抗体生産が全国番組（TBS 情熱大陸 6月5日）で取り上げられ、また7月20日配信の共同通信ニュースでもオーストリッチ産業について取り上げられるなど、オーストリッチ産業への期待は高まっているともいえる状況にあります。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b9b787e894e00152266318e5e56b912219af71b7>

加えて、この度の新型コロナウイルスの影響について様々な公的支援が実施さ

いた新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の間接接触による感染を防止できます。マスクを外したら、手を顔や口につけても大丈夫なように、洗剤で手を洗い、消毒をきちんと行う必要があります。マスクは、外したあとの手の洗浄と一体で使いましょう。

厚生労働省が勧めるように、消毒に関しては、70%アルコールは非常に効果が高く、手の消毒や机などの消毒に効果的です。また、同省の勧めの0.1%次亜塩素酸ナトリウム (=有効塩素濃度 1000ppm) は、通常の利用時よりも濃度が高く設定してありますが、清拭に役立ちます。台所用のキッチンブリーチやハイターなども100倍希釈 (有効塩素濃度 500ppm 以上) であれば、効果を発揮します。ただ、消毒で注意すべきは、拭き取った後のタオルにはウイルスが付着しており、汚い場所を拭いた後では、タオルには有機物が多数付着し、ウイルスの不活化が十分行われてはいない (感染性のウイルスが残っている恐れがある) ことを理解しておくことです。また、次亜塩素酸系の消毒薬は、希釈すると不安定になるため、作り置きしないことです。希釈液を作ったら、すぐに使用しましょう。消毒薬の選択は、拭き取り試験の結果を参考に行ってください。液相混和試験 (病原体と消毒剤との液体中で混合しただけの消毒薬評価試験) では、実際の現場で拭き取りに効果的かどうかはわかりません。

COVID-19 対策では、人の命にもかかわることから、多くの機関や個人レベルでのバイオセキュリティ強化が行われています。ダチョウ産業にかかわる皆様は、バイオセキュリティ対策については実践者であるので、周りの方々への指導者・良きお手本になるよう、頑張ってください。

JOC、JOIN とともに、日本のオーストリッチ産業の社会基盤、生産基盤を構築する役割を担う組織であり、わが国での安定したダチョウ生産の確立が最重要課題です。各農場におかれましては、より確実な生産を得るため、ダチョウ農場防疫マニュアルを基に、より衛生対策を強化し、さらにアニマルウェルフェアを重視し、生産性を高められることを期待します。さらに、これからの新しい社会体制への基礎となる人材と期待されています。

JOC 会員の皆様のご協力が必用ですので、よろしく願いいたします。



JOIN 第19回通常総会 開催報告

JOIN は、5月26日（火）午後2時30分より事務局にて第19回通常総会を開催した。本年はJOC 総会同様、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み書面議決方式での開催となった。上程された議案は組合員各位には議案資料を事前に送付した通りであり、全てが原案通り承認され、可決された。また、JOIN 令和2年度第2回理事会の決定により、後述の通り役員及び役職が定まった。

- 【議案】 第1号議案 平成31年度事業報告及び決算関係書類の承認について
第2号議案 令和2年度事業計画案及び収支予算案の承認について
第3号議案 借入残高の最高限度額の決定について
第4号議案 役員報酬の決定について
第5号議案 定款の変更について
第6号議案 旅費規程の改定について
第7号議案 任期満了に伴う役員の改選について

【役員】

理事長	川口 達男（かとりオーストリッチ伊豆）
副理事長	小久保 謙（小久保牧場）
専務理事	田中 俊之（紅駝鳥肉店）
理事	佐藤 俊實（大東建設(株)）
理事	安藤 泰正（手結夢来駝鳥園）
理事	鈴木 広光（あさひダチョウ園）
理事	安藤 勝利（鹿児島県オーストリッチ事業協同組合）

【川口理事長 総会挨拶】

第19回通常総会の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響で、本年の総会は書面議決方式での開催となりました。組合員の皆様におかれましては、緊急事態宣言やそれに伴う様々な自粛規制が行われる中、大変な御苦勞をされておられるかと思えます。まずは皆様が健康でお過ごしである事を心より願っております。

昨年度はJRAの助成により、ダチョウ防疫強化対策事業とダチョウ飼養アニマルウェルフェア対応推進事業の2つの事業を行う事が出来ました。この事業の推進に当たり、全国の組合員の皆様の農場を訪問させていただきました。その中で、皆様の日頃の御努力の成果を見せていただき、その御努力に敬意を表するとともに、組合にとって大きな財産となっていることを実感しました。またこの事業を通して、新たな知見や、管理方式について、皆様と意見交換がで

きた事も大きな成果でした。この 2 つの事業の成果物として、冊子を皆様にお送りしておりますが、是非有効に御活用いただければ幸いです。

新年度におきましては、こうした事業の成果を、皆様の現場で活かしていただけるように、防疫対策やアニマルウェルフェアはもとより、より生産性が上がり、経済事業としてのダチョウ産業が発展して行く為の支援を、組合として努力をしてゆく所存でおります。皆様の御協力をお願い申し上げます。

また皆様には組合に対して、このような仕事や支援をして欲しいなど、御要望もあるかと思えます。そうした御要望はどうか遠慮なくお伝えいただき、それに応えてゆくことで、組合事業の充実を図ってゆきたいと思っております。

本来であれば直接皆様の御意見を伺う唯一の場所が総会なのですが、それが出来ない事がとても残念です。本年も皆様の御協力をいただきながら、ダチョウ産業発展のために尽力してまいります。



「ダチョウ科学館」計画について



本年度事業計画に記載の通り、JOIN では千葉県印旛郡栄町にある事務局施設を改装して「ダチョウ科学館」として8～9月オープンする予定で準備を進めています。

事務局施設の一室を展示室として、「ダチョウの生物的特徴」、「人類の歴史とダチョウの関わり」、「現代における産業化」の3つのテーマにわけて資料展示を行い、物販スペースを設けるデザインとなっています。

ダチョウの魅力を地域にPRするとともに、観光施設としての地域への貢献を期しています。また新型コロナウイルス感染症の影響で、飲食・観光業向けの食肉販売の継続的な不振が見込まれる中、集客することによる小売り販売や革製品等の販売拡大を期したものです。

オープンを迎えましたら、また続報を知らせたいと思います。

田中 俊之

JOC JOURNAL Vol.117 July. 2020

令和 2 年 7 月 31 日 発行

■編集・発行／日本オーストリッチ協議会

■E-Mail／joc@japan-ostrich.org

■千葉県印旛郡栄町安食台 2-27-20

■TEL0476-37-7950／FAX0476-37-7953

■ホームページ <http://japan-ostrich.org/>